

句

五年

画数 5
筆順 ノ、フ、フ、フ、フ



成り立ち

「包む」という意味を表した「句」と、「ことば」の意味の「口」(漢音はコウですが、呉音はク)とを組み合わせて作った字です。

「ひとまとまりのことば」という意味の字です。また「ひと口で言えることば」ということです。

「文章の一区切り」という意味にも使います。【例】句点。

〔漢音でコウと発音される字は、おおよそ、呉音ではクと発音される。句はコウと発音されることはないが、拘〔拘束〕ではコウと発音され、クと発音されることは無い。「工」などは、「工作」「紅白」はコウだが、「大工」「深紅」はクである。〕

使い方

▽「古池や蛙とびこむ水の音」は名句だということですが、わたしにはよくわかりません。それよりも、一茶の「やせ蛙、負けるな一茶これにあり」などの俳句の方がよくわかつてすきです。

熟語例

▽語句(語は一つのことば、句はいくつかのことばのまとまりのことです。「語や句」という意味で、「ことば」のことを言います。)

▽名句(有名な俳句。また、有名なことば、という意味にも使われます。)

▽俳句(俳人の作る句で、五、七、五の十七音から成る短い詩のこと。)

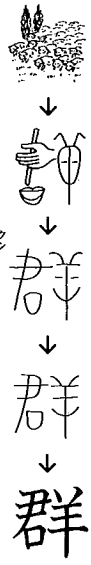
▽警句(するどく真理を表現した短い句のこと。【例】泣く泣くも良い方を取る形見分け」という句は、実に人情をうがった警句だと思えます。)

▽文句(文は長いことば、句は短いことば。「語句」と同じく「ことば」という意味に使われます。特に、苦情をのべることばの意味に使われます。【例】文句を言う。)

群

五年

画数 13
筆順 ヌ、ヨ、尹、君、群



成り立ち

ボスという意味の「君(3年290)」と、「羊(3年431)」とを組み合わせて作った字です。

羊という動物は、ボスを中心にして、いつも「むれ」を作って生活しています。それで、ボスの意味の「君」と「羊」とで、「むれ」という意味を表しました。【例】魚の大群、群島、群衆、抜群。

「むらがる(むれになる)」という意味に使います。【例】群集、群生、群居。

また、「数が多い」という意味にも使われます。【例】群雄、群小国家。

使い方

▽ヘリコプターの上から牧場を見ますと、牛が群れているのがよく見えました。

熟語例

▽大群(大きな群れ)

▽群島(島の群れ。【例】フィリピンは群島から成っている国です。)

▽群衆(民衆の群れ。群がり集まった人々。【例】犯人は群衆の中にまぎれて見つかりませんでした。)

▽群集(群がり集まること。また、その集まり。【例】群集心理は群集の中にあると、自主性を失い、集団に引きずられる心の状態)

▽抜群(群を抜いてすぐれていること。おおぜいの仲間からとび抜けていること。)

▽群雄(数多くの英雄。【例】戦国時代というのは、群雄割拠の時代でした。)

▽群小国家(数多くの小さな、力の弱い国のこと。)